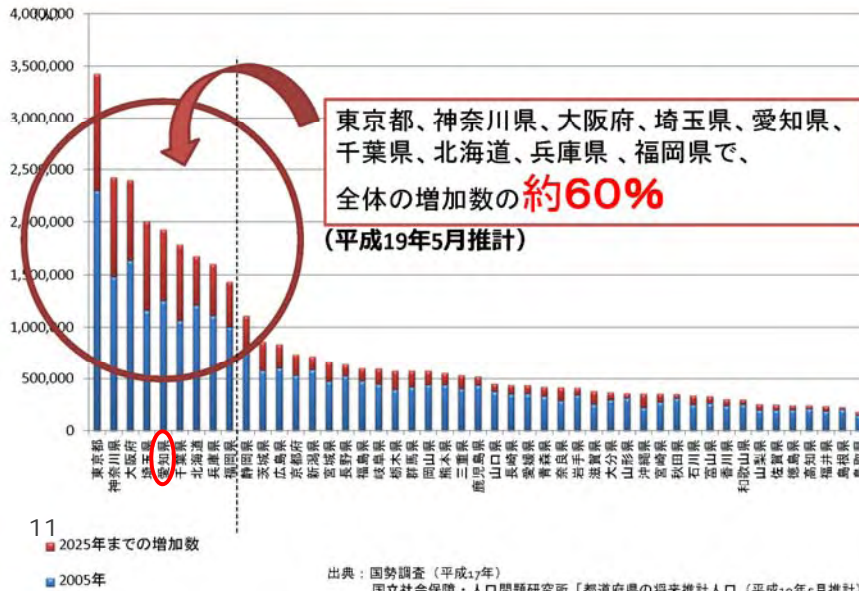
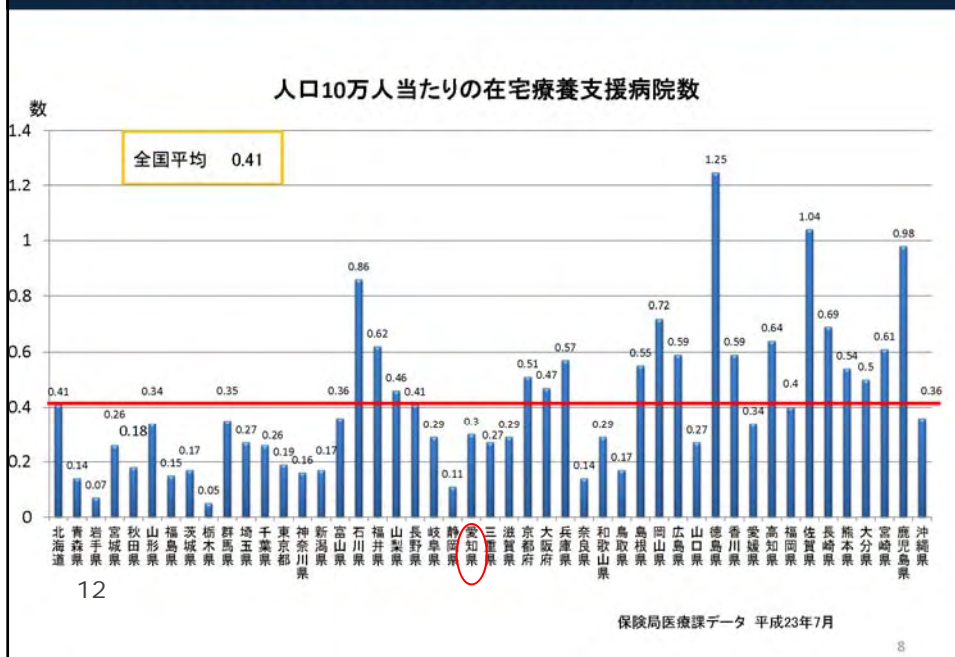


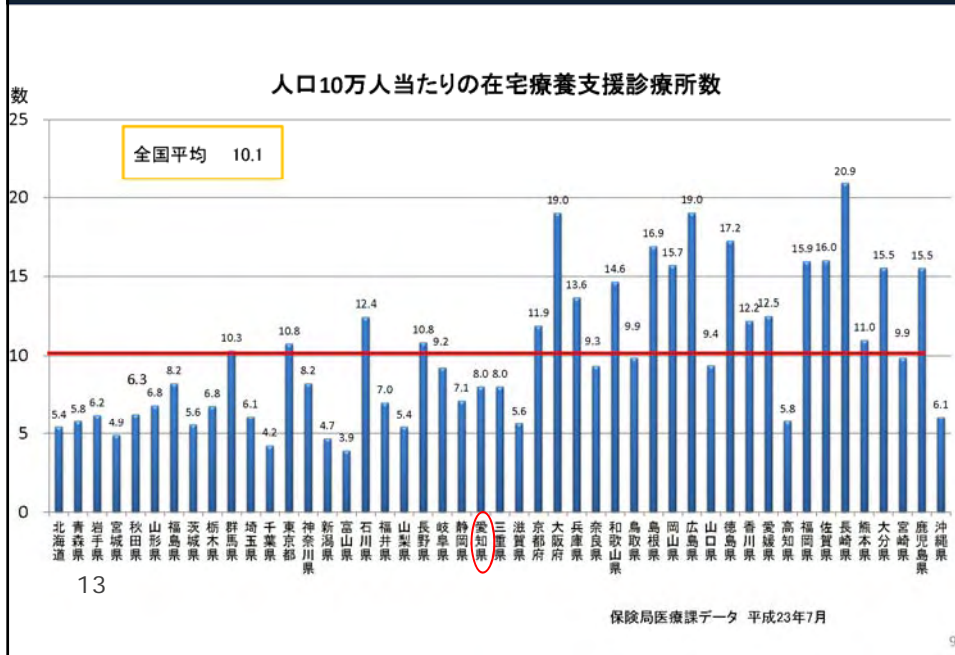
都道府県別高齢者人口(65歳以上)の増加数 (2005年 → 2025年)



人口10万人当たりの都道府県別在宅療養支援病院数

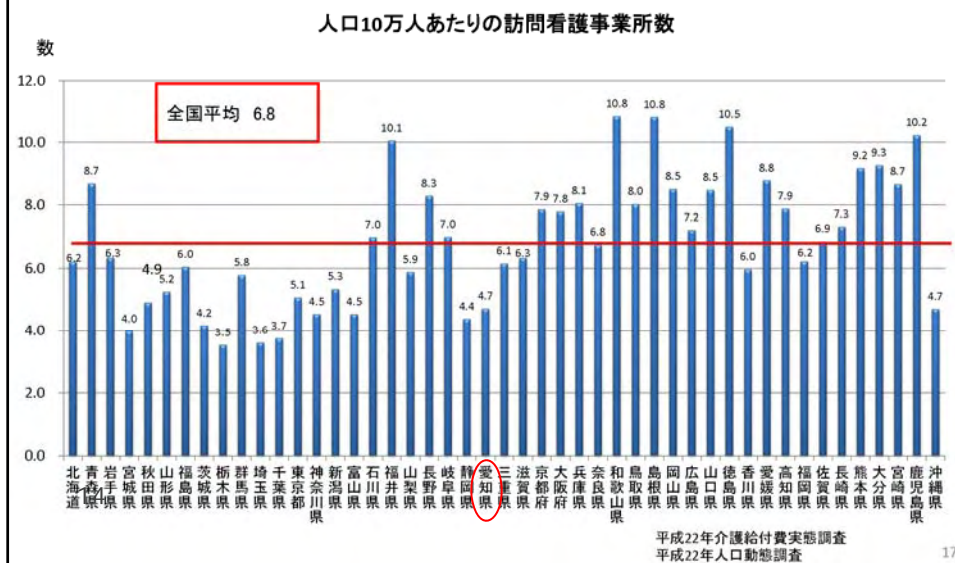


人口10万人当たりの都道府県別在宅療養支援診療所数



人口10万人当たりの都道府県別訪問看護事業所数

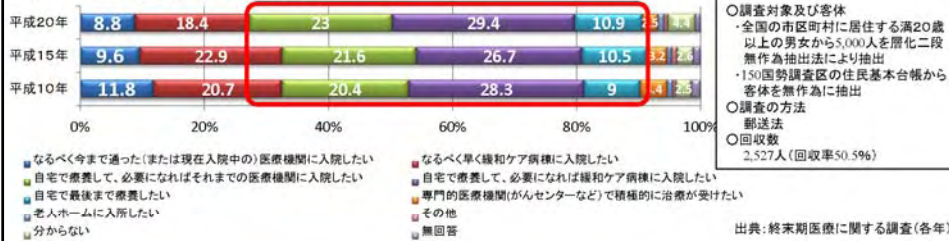
○ 都道府県によって、訪問看護事業所の整備状況は異なる。



在宅医療に関する国民のニーズ

- 自宅で療養して、必要になれば医療機関等を利用したいと回答した者の割合を合わせると、**60%以上の国民が「自宅で療養したい」と回答した**(上図)。
- また要介護状態になっても、**自宅や子供・親族の家での介護を希望する人が4割を超えた**(下図)。
- 住み慣れた環境でできるだけ長く過ごせるよう、また望む人は自宅での看取りも選択肢になるよう、在宅医療を推進していく必要がある。

■ 終末期の療養場所に関する希望



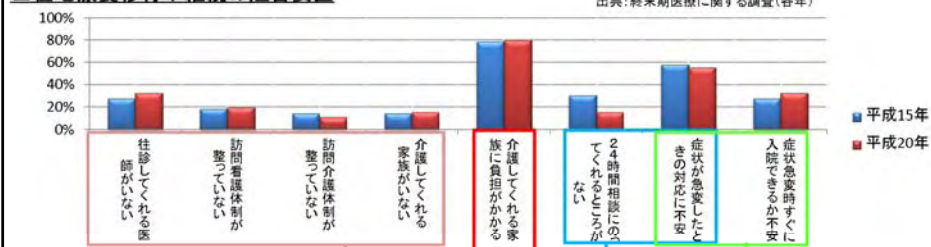
■ 療養に関する希望



在宅医療推進にあたっての課題

- 在宅医療を必要とする者は2025年には29万人と推計され、約12万人増えることが見込まれる。
- 急性期治療を終えた慢性期・回復期患者の受け皿として、終末期ケアも含む生活の質を重視した 医療としての在宅医療のニーズは高まっている。

■ 在宅療養移行や継続の阻害要因



■ 在宅医療推進にあたっての課題

在宅医療・介護サービス供給量の拡充
 医療/介護の連携によるサービスの質の向上及び効率化

在宅療養者の後方ベッドの確保・整備

16

家族支援

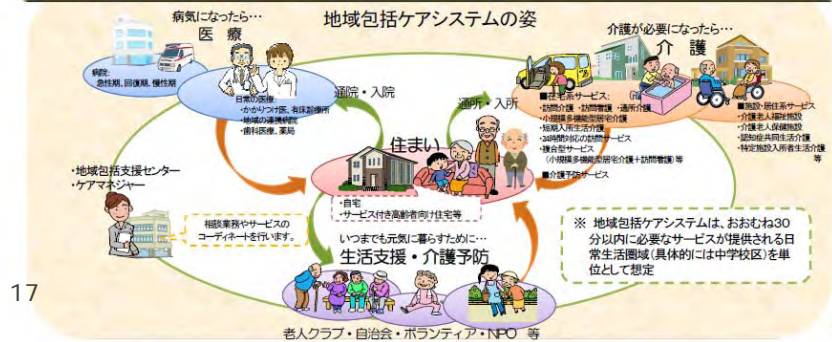
24時間在宅医療提供体制の構築

11

急増する高齢者の生活を支える体制を**早急に**整える

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



17

2

○愛知県在宅医療連携拠点推進事業

18